



NME News

Nutritional Management Expert News

栄養経営士のための情報紙

2024
2月号

●発行/一般社団法人
日本栄養経営実践協会
(JANMP)
〒104-0032
東京都中央区八丁堀3-20-5
S-GATE八丁堀9階
●制作/株式会社日本医療企画

お問い合わせ先/一般社団法人 日本栄養経営実践協会 事務局 TEL.03-3553-2903 FAX.03-3553-2904 <http://nutrition-management.jp>

第8回「全国栄養経営士のつどい」東京大会 開催直前情報!

栄養経営士の英知を結集し 東京から全国に発信しよう!

第8回「全国栄養経営士のつどい」東京大会「専門職連携を導く栄養経営士の現場力」職種の壁を超えた協働を実現するために「於：秋葉原・UDXカンファレンスRoomD」を3月9日(土)に開催する。今回は開催直前情報として、新たに決定したプログラムを紹介する。

有事の備えと心構えを
経験談から学ぶ

今年元日に起こった「令和6年能登半島地震」の経験から、今回の「つどい」では特別プログラムとして「現場報告&特別対談・令和6年能登半島地震の経験から栄養経営士へ伝えたいこと」をお届けする。

登壇するのは、DMAT(災害派遣医療チーム)に医師として参加し沖繩から能登に派遣された吉田貞夫副代表理事と、被災地でありながらも、より被害の大きい地域の病院から患者の受け入れを行っている富山大学付属病院に勤務する北陸支部の甲村亮二理事。プログラム前半は吉田副代表理事が被災地の状況や患者の様子を、甲村理事は被災して何

が起こり、どういう行動を取ったのか、その際に必要なことや注意すべき点、また日頃から備えておくことや心得ておくことなどを参加者に伝える予定である。経験者にしか語れないこと、訴えられない

ことを、ぜひ聞いていただきたい。
震災に関する報告は「栄養経営士による実践報告」でも予定している。被災患者の受け入れを実施している施設の様子やその際の工夫、課題などを発表予

定なので、今後の病院・施設でのマニュアル作成に大いに役立つのではないだろうか。
このほかにも、厚生労働省医政局地域医療計画課室長補佐の須永将広氏による「第8次医療計画が示す方向性

と管理栄養士に求められる役割」の講演や、医療経営士とのコラボプログラム「栄養経営士と医療経営士が語る病院経営における栄養部門の役割」が決定している。どれも栄養経営士にとって貴重な情報ばかりなので、ぜひ聴講して欲しい。

会場・オンライン共にまだ参加者を募集しているため、下記告知から専用サイトを確認していただきたい。現地で多くの参加者とお会いできることを楽しみにしている。

第8回「全国栄養経営士のつどい」東京大会 プログラム

(敬称略)

特別講演	「第8次医療計画が示す方向性と管理栄養士に求められる役割」 須永 将広(厚生労働省医政局地域医療計画課 室長補佐)
栄養経営士による実践報告	食事オーダーに関する食事プロトコル導入 ～タスクシフト・タスクシェアへの貢献～ 須藤瑠衣(医療法人深仁会手稲深仁会病院栄養部 主任) 給食委託会社における栄養士育成 ～栄養管理の質向上のために～ 小林祐貴(株式会社 日本栄養給食協会 栄養部) 食事提供方式変更への取り組み 井原香織(社会福祉法人熊本菊寿会特別養護老人ホームさわらび栄養科 主任) 令和6年能登半島地震による被災者(要介護者)の受け入れについて 荒川和世(医療法人社団KaNaDe) <座長> ・山下 茂子(日本栄養経営実践協会代表理事) ・真壁 昇 (日本栄養経営実践協会代表理事/関西電力病院栄養管理室 室長)
現場報告&特別対談	令和6年能登半島地震の経験から栄養経営士へ伝えたいこと <報告者・ホスト> 吉田 貞夫(日本栄養経営実践協会副代表理事/ちゅうざん病院 副院長) <ゲスト> 甲村 亮二(国立大学法人富山大学附属病院栄養部 副部長・栄養管理室長/養経営士)
特別座談会	「栄養経営士と医療経営士が語る 病院経営における栄養部門の役割」 <参加者> ・佐藤 林太郎(医療法人岩切病院 事務長/医療経営士2級) ・齋藤 大蔵(社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス海老名総合病院 医療技術部栄養科 科長代理/栄養経営士) ・田中 智美(日本栄養経営実践協会理事/医療法人深仁会手稲深仁会病院 栄養部 部長/栄養経営士) <座長> 宮澤 靖 (日本栄養経営実践協会代表理事/東京医科大学病院栄養管理科 科長)

第8回「全国栄養経営士のつどい」東京大会

専門職連携を導く栄養経営士の現場力

——職種を超えた協働を実現するために——

開催日

2024年 **3月9日** 土 10:00~17:00(予定)
※開催後アーカイブ配信を予定しています

会場

UDXカンファレンス RoomD 東京都千代田区外神田4丁目14-1
JR秋葉原駅より徒歩3分

お問い合わせ・お申込みはWEBから



参加者・発表者募集中!



一般社団法人 **日本栄養経営実践協会**
The Japan Association for Nutritional Management Practice

緊急特集 令和6年能登半島地震 アンケート結果速報

「もしも」に備えて 平時から非常時の対応を考えよう

令和6年1月1日16時10分に石川県能登半島を中心に発生した地震では、家屋の倒壊や津波などにより甚大な被害がもたらされた。被災した病院や施設等の栄養部門の被害状況、およびそれにより発生した業務での困難や検討事項等について栄養経営士にアンケートを取ったので、その結果を報告する。

このアンケートは石川県・富山県・新潟県に在住する栄養経営士25名にアンケートを送り、期日までに返送された10名の結果をもとに作成している。ただし、もっとも被害の大きかった地域は現在もなお復興に向けて作業が進んでいる最中であり、アンケートに返信できる状況ではなかったと推察されるので、その点はあらかじめ承いたいただきたい。

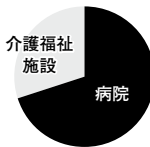
このアンケートは石川県・富山県・新潟県に在住する栄養経営士25名にアンケートを送り、期日までに返送された10名の結果をもとに作成している。ただし、もっとも被害の大きかった地域は現在もなお復興に向けて作業が進んでいる最中であり、アンケートに返信できる状況ではなかったと推察されるので、その点はあらかじめ承いたいただきたい。

被災した人たちが非常時に現場にいるとは限らない。事実、今回の地震は元日に起こっており、通常時とは違うシフトで動いていたと思われる。そんな状況で震災が発生した場合、マニュアルの運用はどうなるのだろうか。マニュアルが「つくっただけの安心材料」にならぬよう、ぜひ、運用方法を部門全体で検討していただきたい。

令和6年能登半島地震 栄養経営士アンケート

2024.1.22~2.13実施 該当者数: 25 回答数: 10

Q.勤務先の種別



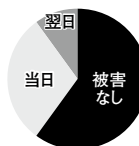
Q.職場での震度



Q.電気の復旧



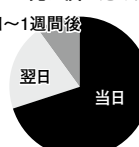
Q.水道の復旧



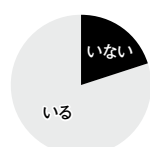
Q.ガスの復旧



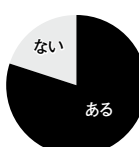
Q.診察・営業が元に戻ったのは



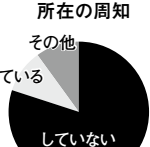
Q.全機能が使えて



Q.非常時マニュアル



Q.マニュアルの所在の周知



Q.備蓄について



うした人たちが非常時に現場にいるとは限らない。事実、今回の地震は元日に起こっており、通常時とは違うシフトで動いていたと思われる。そんな状況で震災が発生した場合、マニュアルの運用はどうなるのだろうか。マニュアルが「つくっただけの安心材料」にならぬよう、ぜひ、運用方法を部門全体で検討していただきたい。

被災した人たちが非常時に現場にいるとは限らない。事実、今回の地震は元日に起こっており、通常時とは違うシフトで動いていたと思われる。そんな状況で震災が発生した場合、マニュアルの運用はどうなるのだろうか。マニュアルが「つくっただけの安心材料」にならぬよう、ぜひ、運用方法を部門全体で検討していただきたい。

被災した人たちが非常時に現場にいるとは限らない。事実、今回の地震は元日に起こっており、通常時とは違うシフトで動いていたと思われる。そんな状況で震災が発生した場合、マニュアルの運用はどうなるのだろうか。マニュアルが「つくっただけの安心材料」にならぬよう、ぜひ、運用方法を部門全体で検討していただきたい。

■食料の備蓄と給食

食糧の備蓄については、使わなかったところが半数、残りも備蓄分だけでまかなえたという回答であった。備蓄量は施設の規模によりまちまちではあるが、みな「人数の3日分」で保存している。

委託給食での災害時の委託給食会社の対応については、パート職員の場合「災害時に自主的に集合するという習慣がなく、緊急時に呼び出せない」という報告があった。「スタッフが出動できない場合にはどうするか再確認が必要と話している」という報告もあり、正規職員以外について

感じたもののなかに「マニュアルはあるが中身はリストで行動については書かれていなかった」というのがあった。先ほどの「アクションカード」とあわせて整備できれば、非常時に有効的なマニュアルになるのではないだろうか。

困ったこと、あればよかったもの、見直した方がよいもの

困ったこととは停電や振動でエレベーターが使用不可になったことが多くあった。とくに配膳は上下運動が大変で、階段で行うときはバケツリレー方式になることが多い。その場合は人出も時間もかかってしまうため、事前に取り決めをしておくことが良いだろう。

あればよかったという回答には「アクションカード」が複数見られた。アクションカードとは「災害などの非常時にとるべき行動をカード化したもの」で、カードの指示通りに動くだけで、確認すべきことや、やらなければならないいけない事柄が逐行できる。動揺していると手順や必要な確認が頭から抜けてしまうことがあるので、こうしたものがあれば非常時でも安心して行動できるだろう。

見直した方がよいという回答は、後日、詳細報告を協会のサイトに掲載予定である。サイトには2018年の北海道胆振東部地震の際に行ったアンケート結果も掲載しているので、あわせて確認し、今後の「備え」に活かして欲しい。

◎大変なときにご協力いただきました会員の皆様、本当にありがとうございました。

Table with 2 columns: 部署 (Department) and 業務内容 (Business Content). It details an 'Action Card' for a hospital ward, including instructions for staff and patients during an earthquake.

厚生労働省が資料としてサイトに掲載しているアクションカードの例

第39回日本臨床栄養代謝学会学術集会 (JSPEN2024) レポート

第1回病院食コンテストは栄養経営士がグランプリを席卷!

2024年2月15、16日の2日間、パシフィコ横浜ノース・アネックスホールでJSPEN2024が開催された。「All Together」をテーマに行われた大会では本協会の理事や会員が多数登壇し、病院食コンテストでは両部門とも栄養経営士がグランプリを獲得するなど、多大なる活躍を見せた。

■1日目

朝8時半から第5会場で行われた「パネルディスカッション2【栄養士・管理栄養士部会】みんな集まれ!病棟専従・専任管理栄養士の実際とこれからの教育」に協会の宮澤靖代表理事(東京医科大学病院栄養管理科科长)が登壇した。

「栄養部門の構造改革」と題した発表のなかで宮澤代表理事は着任してから現在までの業務改革を紹介。全病棟に管理栄養士が常駐している東京医科大楽病院では、特定機能病院が対象となる入院栄養管理体制加算を申請し、その他とあわせて部門として年間約2億円の収入になっていると報告、治療成績の向上も含め管理栄養士が病棟常駐する必要性を説いた。

他の発表者も管理栄養士が病棟に出た成果や課題などを語り、これからの管理栄養士はどうあるべきかのひとつの姿を伝えた。ただし、スタッフ教育については課題としているところが多く、ジェネラリストと専門家のどちらに重点を置いて教育するか、教育システムはどうなっているかという問いに対して、カリキュラムはあるものの、よりよい方法を模索中であるという答えが多くみられた。

早朝からのプログラムではあったが立ち見が出るほどの盛況ぶりで、管理栄養士の病棟常駐に向けての関心の高さがうかがえた。



午後からは協会理事の登壇が目白押しで、「ワークショップ8 新たなデバイスを用いた栄養評価」では吉田貞夫副代表理事(ちゅうざん病院副院長)が座長として登壇、吉田副代表理事自らが考案した推定骨格筋指数(eSMI)を用いてサルコペニア診断を行い、有用であるとした結果報告などを紹介した。その後、吉田副代表理事は「海外招聘講演3 Sarcopenic Obesity: Asian perspective」の座長も務めた。

「合同パネルディスカッション3 日本病態栄養学会/日本臨床栄養代謝学会 術前・術後の決闘管理・栄養管理」では真壁昇理事(関西電力病院栄養管理室室長)が登壇。「術前・術後の血糖管理・栄養管理の必要性～栄養管理の視点から～」をテーマに発表し、多職種協働での栄養管理の必要性を説き、栄養管理の目的は「除脂肪体重の維持・増大」にあり、そこをきちんとおさえておけば術後の回復が変わってくると説いた。

夕方からの「ワークショップ9 多職種による摂食嚥下障害対策」では栄養経営士の高崎美幸さん(東葛クリニック病院紹介構想戦略室、松戸市在宅医療・介護連携支援センター)が登壇し「多職種・多事業所・在宅を含む地域連携」のテーマで発表した。残念ながら、当初予定した内容とは違うものになったとのことであったが、結果としてそこからも事業所をまたいだ地域連携の難しさがうかがえることとなった。



高崎さんは翌日のNSTフォーラムでも発表した

■2日目

この日は朝8時半からのプログラムに真壁理事と西岡心大理事(長崎リハビリテーション病院教育研修部副部長・栄養管理室室長)が登壇した。

真壁理事は「合同シンポジウム5 日本褥瘡学会/日本臨床栄養代謝学会 褥瘡対策と栄養サポート～多職種で目指すエビデンスと実践のグッドバランス～」で、「褥瘡予防管理ガイドラインに基づく栄養療法の実践」と題して発表。摂取するタンパク質量と創傷治療の関係等を詳しく紹介し、褥瘡治療に向けた栄養管理の考え方を説明した。

西岡理事は前日の「パネルディスカッション4 LLL参加で得られるもの」に続き「ワークショップ11 英文論文執筆にみんな集まれ!」に登壇。「臨床栄養関連論文を執筆するためのコツとピットフォール」のテーマで、英文での論文執筆のノウハウや、執筆時に陥りがちな問題について説明した。英語論文と聞くだけで委縮してしまいがちだが、最近はChatGPTなど自動翻訳の精度が上がり、論文などの用途にも耐えうると聞く。日本語での論文作成を考えているのであれば、いっそ英語論文まで作成して海外のジャーナルに投稿する、というのを目標にするのも良いのではないだろうか。

13時20分開始の「ワークショップ12 管理栄養士の周術期・集中治療への積極参加」では栄養経営士の寺田師さん(上尾中央病院栄養科)が「早期栄養介入管理と周術期栄養管理の実践状況」のタイトルで発表。これからの管理栄養士の業務・役割について改めて考え、「栄養士のリ・デザイン」を行っている、というのが印象的だった。

14時20分からは「第1回 患者さんのための

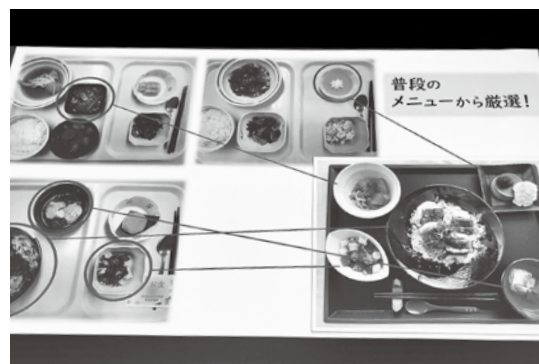


発表後に受けた質問に答える寺田さん

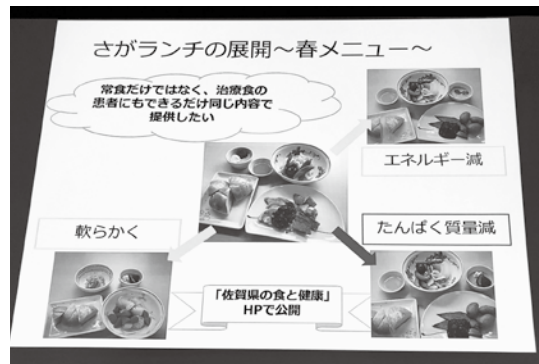
見た目にもおいしい病院食コンテストグランプリの記念講演と表彰があった。クックサーブ部門、クックチル・ニュークックチル部門の2部門での募集で、なんと、ともに栄養経営士がグランプリを獲得! クックサーブ部門を土屋輝幸さん(武蔵野徳洲会病院栄養管理室)が、クックチル・ニュークックチル部門は牛島圭太さん(佐賀県医療センター好生館)が受賞した。

映えある第1回のコンテストでグランプリを栄養経営士が独占したことは、大変な快挙である。土屋さん、牛島さんの取り組みについては、後日また詳しく『NMEニュース』で取り上げる予定なので、ぜひ楽しみにしていて欲しい。

2日間にわたり開催されたJSPEN2024では、管理栄養士を筆頭に多くの医療関係者が集い、少しでも多くの情報を持ち帰ろうと会場をはしごして発表に聞き入る姿が多くみられた。来年も、一人でも多くの栄養経営士が登壇し、自身の成果や取り組みを発表してくれることを期待している。



クックサーブ部門でグランプリを獲った土屋さんのメニュー



クックチル・ニュークックチル部門でグランプリを獲った牛島さんの「さがランチ」

※ここで紹介した以外にも、たくさん栄養経営士が発表していましたが、紙面の都合上すべてを紹介できないことをお詫び申し上げます。

栄養経営士が知っておきたい!

イベント 情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

※新型コロナウイルス感染症対策で、イベントが中止になる場合があります。必ず最新情報を確認してください。

セミナー情報

令和6年度診療報酬改定に伴う 栄養部門研修会

山口県栄養士会主催の令和6年度社会保障制度(診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬)の改定について学べる研修会で、会場・オンラインでの受講が可能です。

- 日 程：2024年3月24日(日) 10:00~11:30
- 講 師：宮崎純一氏
(公益社団法人日本栄養士会理事・医療事業推進委員会 副委員長)
- 会 場：山口県総合保健会館第1研修室(山口市吉敷下東3-1-1)
※Zoomでのオンライン受講あり
- 参加費：【一般】会場：4,000円、Zoom：4,100円
【日本栄養士会会員】会場：2,000円、Zoom：2,100円
- 締 切：3月17日(日)
- お問い合わせ：山口県栄養士会事務局
TEL：083-932-8015



セミナー情報

摂食嚥下と栄養のコラボセミナー&試食会 多職種連携の中での栄養食と摂食嚥下リハビリテーション

摂食嚥下リハビリテーションの今を知り、またさらなる栄養管理の必要性と共に、多職種連携における管理栄養士の重要な役割についても学ぶ機会を創出し、各分野の従事者と交流を深める場として開催します。会場参加の方のみ、摂食嚥下に関する食品の試食会も行います。

- 日 程：2024年3月16日(土)
【講演】16:00~19:00 【試食会】19:00~19:30 ※会場のみ
- 登 壇：野村祐介氏(医療法人社団尽誠会野村病院 理事長)
松長由美子氏(医療法人社団新和会 富山西リハビリテーション病院 管理栄養士)
- 会 場：富山県民会館 401会議室(富山県富山市新総曲輪4-18)
- 参加費：無料
- 協 力：富山県栄養士会/医療法人社団野村病院
- お問い合わせ：株式会社日本医療企画 北信越支社
(担当：渋谷・森田)
E-mail：jmp-hokushinetsu@jmp.co.jp



セミナー情報

2024年度介護報酬改定を目前に見直してみよう! ~栄養マネジメント強化加算・経口維持加算等~

サービスを提供しているにも関わらず、加算算定を行っていない施設に向けた2024年度の介護報酬改定を目前に現在の加算の種類や算定要件を一緒に見直すセミナーです。最新情報についても、わかる範囲で情報共有される予定です。

- 日 程：2024年3月16日(土) 9:45~ 11:30
- 講 師：小川和子氏
(介護老人保健施設洛和ヴィライリオス/京都府栄養士会理事)
- 会 場：京都テルサ東館2階 視聴覚研修室
(京都府京都市南区東九条下殿田町70)
- 参加費：京都府栄養士会会員1100円 他府県栄養士会会員2200円
一般5500円 ※実務 福祉関連法規、制度の理解 講義:1単位
- お問い合わせ：公益社団法人京都府栄養士会
TEL：075-642-7568



協会事務局より

2024年4月期限の会員の皆様へ 【年度会費納入および資格更新のご案内】

本年4月に年度会費・会員資格の有効期限を迎える会員の皆さまに、当協会より、年度会費納入および資格更新のご案内をメールでお送りしております。対象の方はご確認およびお手続きのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。
※用紙での手続きを希望される方は、事務局までご連絡ください。

- 年度会費：有効期限が2023年4月20日~2024年4月19日の方
【個人正会員】10,000円
【栄養経営サポーター】8,000円
- 資格更新：会員資格が2021年4月20日~2024年4月19日の方
【個人正会員】15,000円(年度会費込み)
※申請書類・課題をご提出ください。
【栄養経営サポーター】13,000円(年度会費込み)
- 支払期限：3月19日までに指定口座に振込
- お問い合わせ：一般社団法人日本栄養経営実践協会 事務局
TEL：03-3553-2903

「栄養経営士」資格認定基礎講習

資格認定試験の受験前に、「栄養経営」という考え方を理解するために受講いただく講習です。本講習の受講が、栄養経営士資格認定試験の受験要件となります。

DVD視聴による受講も可能!
☆3枚組、特典映像付き☆

栄養経営士も会員価格で聴講できます!

(こんな方におすすめ)

- ・DVD受講だったので、会場受講をしてみたい
- ・栄養経営士の方向性を、改めて確認したい
- ・栄養経営士として、もう一度、話を聞きたい ……

講習内容

オリエンテーション。
「栄養経営士」に必要な能力について

1. なぜ、今栄養部門が重要になっているのか
2. 自分が勤める栄養部門の現状分析
3. 具体的な目標設定と達成に向けた実践的アプローチ
4. 部門の業務の質を高めるためのアウトカム指標とは
5. 「栄養経営士」に求められる教育と人事能力
6. 病態把握能力と臨床栄養教育

- 講 師：宮澤 靖 代表理事ほか
- 受講料(会場、DVDとも)：8,500円(税込)
- 時 間：10:00~17:00(予定)

会員価格

3,850円(税込)

2024年度 日程決定!

会 場	日 程
大 阪	5月19日(日)
福 岡	7月21日(日)
東 京	11月17日(日)

受講方法

- ①会場②Web(オンライン)
- 詳細・お申込みはこちらで
ご確認ください!▶

